

3 音の地図づくり

聞こえてくる音を地図の上を書いて、周辺の音地図を作る。

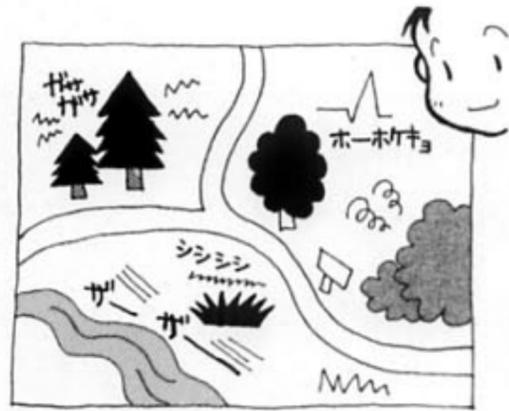
一つ一つの音は聞き分けられても、環境としてどんな音があるのか、全体的に把握することはすくないでしょう。海、川、草原、森の中など環境によって音のようすが違います。音でコミュニケーションをとる鳥や昆虫たちは、それぞれの環境で、どんな鳴き方をしているでしょう。

ねらい

自分のまわりで聞くことのできる音について興味を持つようになる。周辺の音環境について関心を持つようになる。

達成目標

- ・ 周辺にどんな音があるのか、説明できるようになる。
- ・ 環境によって、音の種類が違うことを、事例を出しながら説明できるようになる。



導入

物が見えないようにして音をだし、何の音があてっこししてみる。これからでかける場所（森、学校、家、公園）でどんな音がしているか、予想（想像）してみる。

展開

その場所にてかけ、簡単な地図を作って、聞こえてくる音を地図の上書き込みます。方向などに分けて、手分けして調べる方法をとってみよう。

まとめ

みんなで調べた結果を、大きな紙（模造紙など）にとりまとめ、その場所の音環境について話し合ってみよう。心地よい音は？ 耳障りな音は？ この場所にふさわしくない（いらぬ）音は？ この場所に足りない音は？ この場所らしい音は？

実施のポイント

地図の上には、音源の名前ではなく、聞こえたままの音をカタカナで書か、聞こえたままに模様などで表してみよう。

◆所要時間	2時間
◆人数	30人
◆関連科目	理科、社会、音楽
◆焦点を当てる能力	聞く、聴く、記録する 考える
◆準備するもの	地図を描く用紙、 クリップボード、筆記用具、

評価の視点	音環境について、新しい発見があったか。音環境についての自分の意見がもてるか。
発展・応用	森の中、森のふち、森の外、学校、家の近くなどいろいろ比べてみよう。
参考文献	オリジナル／「自然教育研究センタープログラム」 類似プログラム／「サウンドマップ」（ネイチャーゲーム）

音の地図づくり 3

1. この用紙に地図（道）を書いてみましょう。（パンフレットなどの地図を写してもいいよ）
2. 歩きながら道ぞいの目立つものを書きこみましょう。（大きな木・休けい所・広場など）
3. 音がしたら立ち止まって、よく聞いてみましょう。
(音はどの方向から聞こえますか？どんな大きさですか？音の高低は高い？低い？)
4. 聞いた音を地図に書きこみましょう。
(書きこみ方は、線や波線みたいな模様でも、言葉でも、似ている音を書いてもいいよ)
5. 最後に他の人と交換して、他の人はどんな音を聞いたのか、自分はどんな音を聞いたのか見せあいましょう。

年 月 日 天気 場所 名前